

四国いつせい宣伝 候補者 支部が議員と

11日の四国いつせい宣伝。香川県では、尾崎淳一郎香川3区候補が丸亀市と琴平町、まんのう町で宣伝を重ねました。尾崎氏は、高齢者医療費2倍化法の強行を批判。



国民報「号外ピラを配り宣伝しました。JR端岡駅前で行った国分寺支部の男性(70)は「生活が疲弊しているように感じる。オリンピックを強行する政治は根本的に変えなくてはいけない。四国から共産党の女性議員を誕生させたい」と話しました。

管政権退陣求めて 集会 野党共闘の勝利で白川さんも

香川革新懇と九条の会香川は6日、高松市で菅政権の退陣を求めて集会を開きました。日本共産党の藤沢やよい市議、立憲民主党県連の吉峰幸夫市議、新社会党県本部の井角操委員長、社民党県連の三野ハル子代表がリレートークし、「四国から、香川から野党共闘の勝利と、比例では白川さんを送り出そう」(吉峰氏)など4氏がそろってエールを送りました。

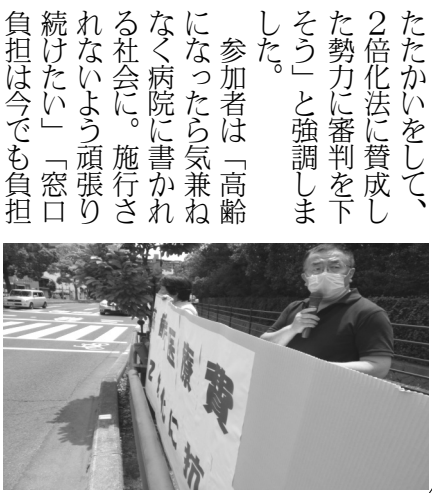


藤沢氏は、高齢者医療費2倍化や公的病床削減を強く批判し「命を大切に」。

高齢者医療費2倍化法 に抗議 スタンディング宣伝

香川県の民医連と革新懇は7日、75歳以上の高齢者医療費2倍化の改悪強行に抗議するスタンディング宣伝をしました。医療関係者らが参加しました。参加者は交通量が多い高松市内の幹線道路沿いに立ち医療改悪反対を示すプラスターや横断幕を手に、行きかう車にアピールしました。

香川民医連の奥谷啓一事務局長は2022年秋から施行されることを報告し、「秋には総選挙もある、施行を許さないにする姿勢を国政に反映



たたかいをして、2倍化法に賛成した勢力に審判を下そう」と強調しました。参加者は「高齢になったら気兼ねなく病院に書かれる社会に。施行されないよう頑張り続けたい」「窓口負担は今でも負担が大きい世帯がある。現役世代も負担減にならない2倍化法は自公政権を変えて、廃止を求めていこう」などと訴えました。

地球温暖化防ごう G7前にスタンディング

香川県の原発をなくす会と脱原発アクションは10日、G7サミット前の緊急行動の呼びかけに応

じて地球温暖化ストップのスタンディングを高松市役所前で行いました。FOEジャパンの呼びかけ

11日には、百貨店前と四電前で原発廃炉を求める行動も行われました。

全国総会で香川革新懇 の活動を報告 赤木代議員

革新懇の全国総会(5月15日)で、香川革新懇の赤木玲子さんが発言をしました。その要旨を紹介します。

「共産党排除の社交合意を乗り越えて、市民と野党の共闘で連合政権を

労働組合や立憲野党の代表に参加してもらいリレートークをしました。2016年参議院選挙で共産党の公認が野党統一候補になって関係も発展した」と語り始めた赤木氏。「今度の総選挙は野党連合政権に挑戦する歴史的なたたかひ、野党共闘発展のため「3目標を掲げる勢力」の躍進が大

動に取り組んでいます」と、力をこめました。県内で2つ目の青年革新懇が出来て、メンバーの要求で職場のパート労働者を誘って待遇改善の学習会に取り組み「もっと知りたい」と次の企画につながっていること。高松市の過疎地域にある市民病院の87床あるベッドをなくし診療所にするという一方的な変更

新しく地域革新懇を立ち上げ、反対署名や学習会、市の職員を呼んでのつどいを行的いコロナ対策に逆行する市や国に対してもっと大きな取組みをしようと活動を強めていること。

総選挙に向けて女性衆議院議員不在の四国からジェンダー平等社会を弁護士や無所属議員、新社会党など超党派の女性10氏が立ち上がり日本共産党の比例候補の白川よう子さんを国会に送ろうと実行委員会を結成。愛媛選出の野党統一参院議員の永江たか子氏とのトーク企画に協力を求められつどいを成功させたこと。その取り組みでつながった女性に「全国革新懇(ニュー)の普及や地域革新懇の企画での共同がひろがっていること。地域革新懇で白川よう子さんと小川淳也・衆議院議員の語るつどいを行ったこと。「75才以上の医療費窓



白川よう子

四国ブロック国政対策委員長

思わず拍手。2日の衆院厚生労働委員会、宮本徹議員の五輪開催についての質問に、政府分科会の尾身茂会長は「今の状況でやるというのには普通はない。このパンデミックで」とはっきりと答弁。

一切受け入れないとも言わんばかりだ。尾身会長は他党の議員の質問に対しても「五輪開催に伴う国内での感染拡大の影響を評価し、どのようにすればリスクを軽減できるか」などの意見を伝えるのは「われわれがロフェッショナルの責任だ」と。その声も聞かないというのだらうか。

志位和夫委員長は「感染リスク不明のまま五輪開催強行を許せない。目をつぶったまま

断崖から飛び降りるようなもの」とバツサリ。オリパラ開催中止の決断を重ねて強く求める。日本酒「獺祭」の蔵元、5月24日、日経新聞に『飲食店を守ることも日本の「いのち」を守ることにつながります』という意見広告を出し、大きな反響を呼んでいる。



国会では高齢者医療費2倍化法が成立。コロナ禍の下で高齢者の命と健康をいかに守っていくのかが問われている。来年10月の施行を止めるべく、総選挙で目にモノ見せてやろう。

参加した男性(61)は「土地利用規制法案など悪法が通ったら日本はこれまで通り暮らせなくなると思う。空恐ろしい。自公政権を打倒して、国民と民主主義を大切にする政権ができてほしい」と話しました。

参加者の女性(40)は、「地球温暖化を止めようと思って参加しました」。火力発電もいけないが原発が二酸化炭素を出すことを知りました。将来に残すのは怖いです」と話しました。

口2倍化法反対で民医連と革新懇が共同で週2回のスタンディング宣伝に取り組み「む」など、職場の中で革新懇の役割がよく見えるように